

登米市の市民憲章が決定しました

登米市の市民憲章が12月5日に制定されました。市民憲章等制定検討委員会で検討・協議を重ね、登米市のキャッチフレーズ「夢・大地 みんなが愛する水の里」にふさわしい市民憲章となっています。夢と希望に満ちあふれ、市民皆さんから愛され続け、住み良い登米市になってほしいとの願いが込められています。

登米市民憲章

わたしたちは、豊かな自然環境に恵まれた水の里をいつまでも愛し、ふるさとの誇れる歴史と伝統文化を受け継ぎながら、世界に羽ばたく住みよい登米市をみんなで作るために、この憲章を定めます。

- わたしたちは、夢や希望を持ち、生き生きとしたまちをつくりまします。
- わたしたちは、健康で働き、豊かなまちをつくりまします。
- わたしたちは、スポーツや文化に親しみ、明るいまちをつくりまします。

的確な判断と素早い行動で救助

事業所・消防団・市消防署合同火災防衛訓練

事業所、消防団、市消防署の合同による火災防衛訓練（市消防署主催）が12月21日、ホテルサンシャイン佐沼で実施されました。事業所の建物を使用した訓練は初めての試みで、ホテル従業員や迫町消防団、消防署員ら約50人が参加しました。訓練は、ホテル2階客室からの火災発生を想定して実施



消防団員が3階から人が搬送する救助訓練



煙を吸った宿泊客を発見し救助する警備員役の署員



ホテル内での本番さながらの消火訓練

警備員役に扮した署員と従業員による消防署への通報、宿泊客に対する火災発生の一斉放送から始まりました。火災現場に駆け付けた署員からは、宿泊客を各階の避難口から素早く安全な場所へ避難誘導しました。また、避難中に煙を吸ったり足をくじいたりし、歩行困難となった人が人の救助訓練や、消火訓練も併せて実施されました。

反省会では、遠藤平一支配人が「火災は絶対に起こさないよう日ごろから気を付けていますが、万が一のときを考え、訓練を通して体で覚えることができました。今後もお客様の生命を守ることを第一に営業していきます」と話していました。参加者は、真剣な表情で的確な判断と素早い行動を取り、本番さながらの訓練に取り組みました。

走るラグビーで栄冠をつかむ

小学生タグラグビー選手権大会県予選

第2回全国小学生タグラグビー選手権大会県予選が12月18日、仙台スタジアムで開催され、佐沼プラタナスジュニアRFCが優勝しました。選手8人とコーチ陣が12月28日、市役所迫庁舎を訪れ、布施市長に優勝報告をしました。タグラグビーは1チーム5

人編成。従来のラグビーと比べてタックルがなく、腰に付けたリボンを相手に取られるとパスを出さなければいけません。また、選手が連続で4回リボンを取られると、攻守が切り替わります。32チームの予選リーグを勝ち抜いた10チームが決勝トーナメントに進み、決勝戦で船迫小C（柴田町）を下し、見事東北大会進出の切符を手に入れました。市長は「市内にはラグビーの名門校佐沼高校があるが、小学生を対象としたクラブチームが一つしかない。また、中学校の部活動やスポーツ少年団にもないので、小中学生がラグビーをできる環境づくりを検討したい。今後、練習に励み、頑張ってもらいたい」と激励しました。



市長に優勝報告する佐沼プラタナスジュニアRFCの選手



キャプテンでスクラム

ムハーフを務める浅野周平君（佐沼小6年）は、「東北大会でもチームカラーの走るラグビーで優勝したい。今後もラグビーを続け、佐沼高校で花園を目指したいです」と話しています。なお、東北大会が1月22日、秋田市を会場に開催され、6県の代表6チームが戦い、佐沼プラタナスジュニアRFCが4位に入賞しました。

新年の幸せ祈り 力強くもちつき

南方放課後児童クラブもちつき大会

南方子育てサポートセンターで12月28日、南方放課後児童クラブもちつき大会（同センター主催）が開催されました。きねと臼を使った昔ながらのもちつきを、子どもたち



職員の手伝いで力強くもちをつく児童たち

体験させることを目的に開催した同センターに市内から通う児童クラブの子どもたち（小学1年生から3年生まで）15人が参加しました。子どもたちは、職員の指導のもと「ヨイショヨイショ」の掛け声で、柔らかくホカホカのもちをつき上げました。出来上がったもちには、手づくりのオリジナルふくべんと一緒にミズキに飾り付け、新年の幸せを祈りました。参加した千葉真奈さん（南方小3年）は「もちつきをするのは初めてで怖かったけど楽しかったです。自分で作ったもちを納豆やきなこで7個も食べました。柔らかくてとてもおいしかったです」と話していました。



オリジナルのふくべんをミズキに飾り付けました